

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立出雲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音楽朝会の「今月の歌」を通して、友達と声を合わせて歌う楽しさを味わうとともに、少しずつ歌唱表現を高める指導を積み重ねることができた。
- ・学習の成果を全校児童に聴いてもらう経験を通して、達成感を感じられるようにするとともに、音楽活動への意欲を高めることができた。
- ・個に合わせた学習進度を選択できるようにすることで、どの子もねらいに迫ることができるように工夫した。

(2) 課題

- ・明るく響く声で歌う技能を身に付け、どの学年でも生き生きと歌う姿を引き出せるように、常時活動や授業展開、学習内容を工夫する。
- ・タブレット端末を使って毎時間振り返りを行って児童の自己評価につなげ、学習の積み重ねやつながりを深められるようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・リズム遊びやふし遊びを積極的に取り入れ、楽しみながら音程感、リズム感を身に付けられるようにする必要がある。 ・鍵盤ハーモニカの指導は、運指の全体指導と個別指導を行い、基礎的な力を育成する必要がある。	・音に合わせて体を動かしたり、楽曲に合わせて手拍子したりして、即興的な表現活動に親しむようにする。 ・聴き合う活動を取り入れて、音楽表現のよさを感じ取れるようにする。	・いろいろな音楽を聴いたり歌ったりすることで、音楽への親しみをもたせる。 ・様々な楽器に触れさせ、楽しみながら活動に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・常時活動などで毎時間少しずつ発声や器楽の技能を高める活動に取り組む、基本的な技能を定着させる必要がある。 ・思いや意図を表現するために必要な技能について考えさせ、試しながら身に付けていく必要がある。	・曲の特徴を捉え、感じたこととつなげて考えることができるようにする。 ・音楽づくりにおいて、ICTを活用して自分の思いに合った旋律やリズムをつくる活動に取り組む。	・友達と歌声や音色を合わせて演奏することの良さを感じ取り、楽しみながら音楽活動に取り組めるようにする。 ・タブレット端末を活用して振り返りを行い、学習を深めていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・豊かに響く声の発声や呼吸について継続して指導し、声の重なりを感じながら二部合唱ができるようにする必要がある。 ・思いに合った表現をするために、音色や響きに気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けていく必要がある。	・曲想と音楽の構造などとの関わりについて、音楽を形づくっている要素をもとに関連付けて考えられるようにする。 ・音楽づくりにおいて、ICTを効果的に活用し、試行錯誤を繰り返しながら自分の思いに合った旋律やリズムをつくる活動に取り組む。	・発表の場を設け、音楽を通して聴く人に思いを伝えることの良さを感じ取ったり、よりよい演奏をしようとする思いを高めたりする。 ・タブレット端末を活用して考えを交流し、友達の考えを自分の表現に生かしたり、よりよい表現を工夫したりすることにつなげる。

